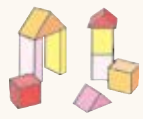
人が輝く 講座・教室・催し

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他　ぽけっと（区主催以外）

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
子ども	ジュニア育成冬季ソフトテニス教室	平成25年1月6日～3月24日の毎週日曜日・祝日午前9時～正午	墨田五丁目テニスコート（墨田5－16－14）	対小学校4年生～中学生　費無料　持テニスシューズ（運動靴）＊ラケットの無料貸出しあり　申当日直接会場へ　問墨田区ソフトテニス連盟事務局　猪飼直茂 ☎3617－4123
	おもちゃサロン「好きなおもちゃでいっぱい遊ぼう」 	平成25年1月11日、2月8日、3月8日いずれも金曜日午前10時～午後3時半	曳舟集会所（東向島2－17－14）	内おもちゃ遊び　対保護者同伴の子ども　＊曳舟集会所の午前中は、障害のある子どもとその保護者が対象　費無料　申当日直接会場へ　問▶墨田区社会福祉協議会 ☎3614－3900　▶みどりコミュニティセンター ☎5600－5811
		平成25年1月23日、2月27日、3月27日いずれも水曜日午前10時～午後3時半	みどりコミュニティセンター（緑3－7－3）	
仕事・産業	就職活動支援セミナー「ありのままのリアルメッセージ〝若者から見た仕事・社会・就活〟」	平成25年1月12日（土）午後1時半～3時半	すみだリバーサイドホール1階会議室（区役所に併設）	内フリーターを脱して就職した若者に、就職活動から現在に至るまでの経験を聞く　対39歳以下で就職を希望する方　定先着20人　費無料　申事前に若者サポートコーナー（区役所1階）☎5608－6834へ
	工業振興スクール（技術講習コース）「はじめての品質保証」	平成25年1月15日（火）午後6時～8時半	すみだ中小企業センター（文花1－19－1）	内品質保証の考え方などについて学ぶ　対区内中小企業の経営者・従業員　定先着20人　費無料　申事前に講座名・氏名、勤務先の名称・所在地・電話番号・業種を電話または、ファクス、Eメールで、すみだ中小企業センター☎3617－4351・FAX3617－4340・✉school@techno-city.sumida.tokyo.jpへ
	ISO9001セミナー「品質マネジメントシステムで販路の拡大、売上アップ!!」	平成25年1月16日（水）午後6時～8時		内品質マネジメントシステムの国際規格（ISO9001）の運用方法などを、企業の実際の活動から学ぶ　対区内中小企業の経営者・従業員　定先着30人　費無料　申事前に講座名・氏名、勤務先の名称・所在地・電話番号・業種を電話または、ファクス、Eメールで、すみだ中小企業センター ☎3617－4351・FAX3617－4340・✉webmaster@techno-city.sumida.tokyo.jpへ
文化・スポーツ	初心者向け「キンボールスポーツ体験教室」	12月22日（土）午前10時半～正午	立花体育館（立花1－25－10）	内ルールが簡単で、子どもから大人まで楽しめるニュースポーツの体験　対区内在住の小学生以上　費無料　持室内用の運動靴、飲物　申当日直接会場へ　問スポーツ振興課スポーツ振興担当 ☎5608－6312　＊当日は動きやすい服装で参加
	すみだ観光ガイドが案内する「隅田川七福神めぐり」	平成25年1月2日（水）・3日（木）・5日（土）・6日（日）午前10時半～　＊いずれも3時間程度　＊集合は午前10時20分　＊荒天中止	【集合場所】吾妻橋観光案内所（吾妻橋1－16－1）	内三囲（みめぐり）神社や長命寺などの隅田川七福神を、観光ガイドとともにめぐる　定各日先着15人程度　費各日500円（保険料込み）　申事前に希望日、代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数を往復はがき、または、ファクスで墨田区観光協会（〒130－0001吾妻橋3－4－5）☎5608－6951・FAX5608－7130へ　＊墨田区観光協会のホームページからも申込可
	すみだ生涯学習フェスティバル「習い事を始めたい方 お集まりください」	平成25年1月12日（土）・13日（日）午前10時半～午後4時	区役所1階アトリウム、すみだリバーサイドホール1階ミニシアター（区役所に併設）	内生涯学習関連の各種団体・サークルの舞台発表（手品、朗読、音楽、舞踏など）や活動体験（ペンシルバルーン、折り紙、相撲文字、新聞紙工作、筆ペン絵、ビーズなど）、パネル展示、活動を紹介する映像の上映、生涯学習に関する相談など　【入場料】無料　＊活動体験は一部自己負担あり　申当日直接会場へ　問生涯学習課生涯学習担当 ☎5608－6309
	区民体育祭「スキー大会」	平成25年1月27日（日）午前10時～午後3時	布場スキー場（新潟県南魚沼郡湯沢町布場）　＊現地集合・現地解散	種▶回転競技＝男子（青年・成年）・女子の部　▶スノーボード（公開競技）＝スラローム（男女共通）の部　対区内在住在勤在学の15歳以上で、傷害保険等に加入している方　費1000円　＊当日支払　申25年1月18日までに、スポーツ振興課スポーツ振興担当（区役所11階）☎5608－6312へ　問墨田区スキー連盟　神野 登美夫 ☎3622－7589　＊12月29日～25年1月3日を除く
	健康体力づくり教室（各教室全8回）	平成25年1月30日（水）～3月30日（土）　＊各教室の日程の詳細は申込先へ	スポーツプラザ梅若（墨田1－4－4）	種スッキリシェイプ、脂肪すっきりラクラク体操、太極拳、リフレッシュケア（ヨガ＆ストレッチ）、体力向上＆ストレッチ、健美操（ゆったり体操）、エアロビクス（初級）　対区内在住在勤で18歳以上の方　定各教室60人（抽選）　費各教室2300円　申25年1月9日までに、スポーツプラザ梅若 ☎5630－8880へ　＊12月29日～25年1月3日を除く
イベント	伊豆高原荘「伊豆らんらん倶楽部バスツアー」	▶平成25年2月13日（水）～15日（金）　▶25年2月19日（火）～21日（木）　▶25年2月26日（火）～28日（木）　＊いずれも2泊3日	【宿泊先】伊豆高原荘　＊区役所玄関前に午前9時集合（錦糸公園前バス停付近に午前9時20分集合でも可）	内南桜と菜の花の見学（2日目）、河津桜の見学（3日目）など　定各先着40人　費各2万100円（区内在住在勤者は100円引き）　＊昼食代は別途自己負担　申12月21日午前9時から電話で伊豆高原荘 ☎0557－54－1108へ

いきいきすみだ 募集

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　選＝選考方法　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

区分	名称	内容・対象等	申込み・問合せ等
仕事・産業	平成25年度墨田区社会福祉事業団常勤職員（福祉職・医療職）の募集	内知的障害者、心身障害児、高齢者等を対象とした事業における介護・生活支援や児童発達支援、相談援助、施設運営事務等　種・対▶福祉職＝社会福祉士、介護福祉士、保育士、介護支援専門員、臨床心理士、臨床発達心理士のいずれかの資格がある方　▶医療職＝保健師または正看護師の免許を有する方　【採用数】各若干名（選考）　選書類選考および筆記試験、面接　＊書類選考合格者には筆記試験と面接を平成25年1月26日（土）・27日（日）に実施	申履歴書（応募職種を記入）と、応募動機や仕事に対する考え方をまとめた作文（1200字程度で書式自由）を直接または郵送で25年1月7日（必着）までに墨田区社会福祉事業団（〒131－0033向島3－36－7）☎5608－3719へ　＊詳細は問い合わせるか、墨田区社会福祉事業団のホームページを参照

☎＝電話　FAX＝ファクス　✉＝Eメール　🖳＝ホームページアドレス

人が輝く 講座・教室・催し

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他　ぽけっと（区主催以外）

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
暮らし	**弁護士による権利擁護法律相談**	平成25年1月10日（木）午後1時半～4時半	すみだボランティアセンター（東向島2－17－14）	内▶判断能力が不十分な方への権利擁護法律相談　▶福祉サービスの苦情相談　▶親族や後見人からの相談　費無料　申事前に電話で、すみだ福祉サービス権利擁護センター ☎5655－2940へ
	第7回エコライフ講座 環境配慮企業見学「見てみよう！聞いてみよう！いっしょにeco」	平成25年1月25日（金）午後2時～4時	花王すみだ事業場（文花2－1－3）	内花王ミュージアムを見学し、環境負荷を減らす商品開発などについて学ぶ　対区内在住在勤の方　定先着20人　費無料　申12月21日午前9時から環境保全課環境管理担当（区役所14階）☎5608－6207へ
	東京港"野鳥"観察会「越冬する野鳥を観察しにいこう！」	平成25年1月26日（土）午前9時～午後4時　＊区役所玄関前に午前8時50分集合　＊雨天決行	東京港野鳥公園（大田区東海3－1）　＊往復バスを使用 モズ	内冬の生きものの観察　対区内在住在勤の方　＊小学生以下は保護者の同伴が必要　定先着35人　費100円程度（保険料）　持筆記用具、弁当、飲物、双眼鏡（お持ちの方のみ）など　申12月21日午前9時から環境保全課緑化推進担当（区役所14階）☎5608－6208へ
	女性のための護身術「WEN（ウェン）－DO（ドー）　暴力から身を護（まも）る」（全2回）	平成25年1月26日（土）、2月9日（土）午前10時～正午	すみだ女性センター（押上2－12－7－111）	対10歳以上の女性で、全日程参加できる方　定先着20人　費無料　申事前に電話で、すみだ女性センター ☎5608－1771へ　＊事前申込みによる1歳～就学前の子どもの一時保育あり（定員制）　＊当日は動きやすい服装（スカートは不可）で参加
	リサイクル手作り講座「古布で作る立ちひな人形」	平成25年1月26日（土）午後1時～3時	すみだ環境ふれあい館（文花1－32－9）	対区内在住在勤在学の中学生以上　定20人（抽選）　費400円（材料費込み）　持裁縫道具、はさみ、ものさし、セロハンテープ　申住所・氏名・年齢・電話番号を往復はがきで25年1月11日（必着）までに、すみだリサイクル活動センター（〒130－0003横川5－10－1－111）☎5611－7740へ　＊抽選結果は25年1月18日ごろに返信
健康・福祉	**新春「白玉お汁粉サービス"お汁粉食べて今年も元気に明るく過ごしましょう"」**	平成25年1月11日（金）午前11時～　＊なくなり次第終了	立花ゆうゆう館（立花6－8－1－102）	対区内在住で60歳以上の高齢者　定先着100人　費無料　申当日直接会場へ　問立花ゆうゆう館 ☎3613－3911
	生きがい講座「シニア向けスマートフォン講座」	平成25年1月16日（水）・30日（水）午後1時半～3時半	すみだ女性センター（押上2－12－7－111）	内スマートフォンの操作方法等について学ぶ　対おおむね55歳以上の方　定各日先着20人　費無料　申事前に電話で、てーねん・どすこい倶楽部事務局 ☎5631－2577へ　＊受付は平日の午前10時～午後4時　問高齢者福祉課高齢者支援担当 ☎5608－6168
	身体障害者向け「創作粘土人形教室」（全2回）	平成25年1月23日（水）・30日（水）午前10時～正午	すみだ福祉保健センター（向島3－36－7）	内粘土を使い、雛（ひな）人形を作る　対区内在住で身体に障害のある方　定15人（抽選）　費600円（材料費）　申住所・氏名・ファクス番号を、直接または電話、ファクスで、25年1月7日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608－3723・FAX5608－3720へ　＊申込時に手話通訳の希望可
	代謝を上げて体質改善！マイペースヨガ（全3回）	平成25年1月28日、2月4日・11日いずれも月曜日午後6時半～8時半	みどりコミュニティセンター（緑3－7－3）	対16歳以上の方　定先着20人　費2500円（保険料込み）　持飲物、バスタオル、ヨガマット（お持ちの方のみ）　申12月24日から、みどりコミュニティセンター ☎5600－5811へ　＊受付は午前9時～午後8時
	高次脳機能障害講演会「症状について」	平成25年2月1日（金）午後1時半～3時半	すみだ福祉保健センター（向島3－36－7）	対区内在住在勤の方　定先着30人　費無料　申事前に電話で、すみだ福祉保健センター ☎5608－3712へ
	要約筆記教室（全6回）	平成25年2月5日～3月12日の毎週火曜日午前10時～正午		内手話によるコミュニケーションが難しい方を支援するため、話し言葉を文字にして伝える「要約筆記」の技術を学ぶ　対区内在住在勤で要約筆記に関心のある方　定20人（抽選）　＊定員に満たないときは中止になる場合あり　費200円（教材費）　申住所・氏名・ファクス番号を直接または電話、ファクスで25年1月14日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608－3723・FAX5608－3720へ

発見！すみだの誇り㊷

江戸のまちの繁栄を支えた歴史ある橋
両国橋

「発見！すみだの誇り」では、現在・過去・未来を問わず、すみだが誇れるまちの魅力をご紹介しています。
[問合せ]広報広聴担当 ☎5608－6223

「橋の博物館」と呼ばれるように、隅田川には個性豊かな26もの橋が架けられています。そこで今回は、区内に架かる9つの橋の中で最も歴史ある「両国橋」についてご紹介します。

「両国橋」は、江戸幕府により万治（まんじ）2年（1659年）に架橋されたといわれています。それまで幕府は、江戸城防衛の面から隅田川への架橋を「千住大橋」以外認めていませんでした。しかし、江戸の大半が焼失した明暦（めいれき）3年（1657年）の火事（明暦の大火）で、橋がないために逃げ場を失った多くの人々が亡くなったことなどから、幕府は「両国橋」の架橋に踏み切りました。さらに、本所地区の開拓とも相まって、以後、隅田川には多くの橋が架けられました。

「両国橋」の名称は、武蔵国と下総国の2つの国にまたがる橋ということで名付けられましたが、それは元禄（げんろく）6年（1693年）に「新大橋」が架けられてからの話で、それ以前は、大川（隅田川）に架かる最大の橋という親しみを込め、「大橋」と呼ばれていたそうです。また、橋の上からの眺望や、橋の袂（たもと）の火除地（ひよけち）に並ぶ露店・芝居小屋に加え、舟遊び、花火、大相撲などで付近は大変賑（にぎ）わい、江戸の人々の歓楽地として親しまれました。一説には、1日に2万人以上の人々が往来したそうです。

そのため「両国橋」は、江戸の象徴の一つとして葛飾北斎や歌川広重などの浮世絵の題材になったり、"すみだゆかりの作家"である芥川龍之介や永井荷風の作品に登場したりします。また最近では、平成20年に「両国橋」架橋350年の記念イベントが盛大に開催されました。

このように、今日に至るまで多くの方に親しまれ続けている「両国橋」は、"すみだの誇り"です。ぜひ、皆さんも「両国橋」の歴史を感じながら、橋を渡ってみてはいかがでしょうか。

歌川重宣画「東都両国橋渡初寿之図」 安政2年（1855年）

現在の「両国橋」